

## みんなで力を合わせて乗り越えていきましょう。

8月31日の終わりの会で担任の先生から報告があったと思います。またその日学校ホームページにも掲載しました。

全員ではないものの、多くのみなさんにとって部活動が思うように行えないことは、本当につらいことだと思います。日頃みなさんと一緒に取り組んでいる顧問の先生方も思いは同じだと思います。これまでもみなさんは部活動において感染防止のためにいろいろ工夫してやってくれていたとは思いますが、しかし、いろんな角度から総合的に判断した結果、当面は中止となりました。



つらいことではありますが、受け入れてもらうしかありません。

公式大会や発表会が控えている場合はその前1週間の活動は可能です。この週末にある部活動については現在も行われていますね。とにかく十分すぎるぐらい感染リスクを減らす、工夫をお願いします。顧問の先生にもしっかり対応してもらえようをお願いしていますが、何よりもみなさん一人ひとりがしっかり考えて行動していただくことが大切です。

公式大会や発表会が少し先に控えている場合は、学校では今しばらく活動することができません。自宅での各自の活動となります。顧問の先生から何かしらの指示や助言もあるとは思いますが、自分で「何をすべきか。何ができるか。」を考え、実行に移してくれることを願っています。今こそ、これまで学んできたことを最大限発揮し、さらにそこに創意工夫を加えて、乗り切りたいと強く思っています。



<昼休みのグラウンド>

## 学校に寄贈していただきました。やまと真空マスク!



8月31日岩本さん(やまと真空工業株式会社)が校長室を訪ねてこられました。自社で開発製造された『やまと真空マスク』を生徒および教職員分寄贈して下さるためです。

ちなみに会社は志都美駅の近くにあるそうで、地元の方だということです。

今日担任の先生からみなさんに1つずつ配ってもらいます。袋の中にこのマスクの説明を書いた用紙

が入っていますので、読んでもらったと思いますが、簡単に説明してみますね。

最大のポイントは抗ウイルス加工がされていることです。マスクそして耳ひもにウイルスが付着しても2時間で1/1000に不活化させることができる、つまり99.9%不活化に成功したということです。県内の医大での試験からのデータだそうです。要するにウイルスと闘うマスクってことですね。スゴいですよね。

マスクのつけ心地ですが、すごく優しいです。口が当たる部分は紙おむつの素材を利用してると聞いて納得しました。

みなさん、有効に活用してくれたらと思います。



## 校則改定の取組 試行期間が始まっています。

8月31日からスタートした試行期間。これを書いている時点で、2日間朝のあいさつのために校門に立ちながら登校してくるみなさんの様子を見てみると、いろんな靴を履いてきていますね。まだまだ人数は少ないですが、見ていてちょっと新鮮な感じがします。基本的に「運動に適した運動靴」ですので、色やデザイン、素材は問われていません。安全上問題がある場合は不可となりますが、見ている限りそれはないように思います。下着や靴下はパッと見ただけではなかなかわかりませんが、「オイオイ」と声をかけないといけないような人はなく、各自で工夫してくれているんじゃないでしょうか。もちろん「これまで通りで行こう!」と思っている人はそれでも全く問題ありません。それはそれで尊重されるべきことです。ただ、もし様子見をしている人がいるのなら、まず行動を起こしてみてください。

こんな時だからこそ、笑顔と元気!